

昭和36年
2月1日

町の動き
人口 15,793人
世帯数 3,442人
面積 43.61km²

たぎ

田辺町役場

電話田辺271~274

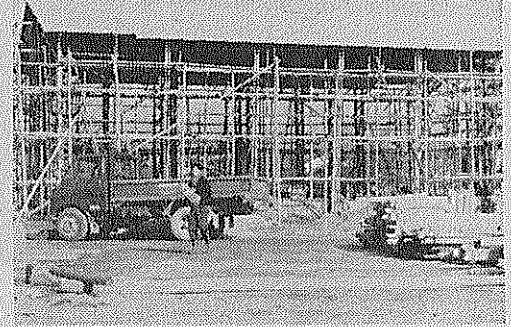
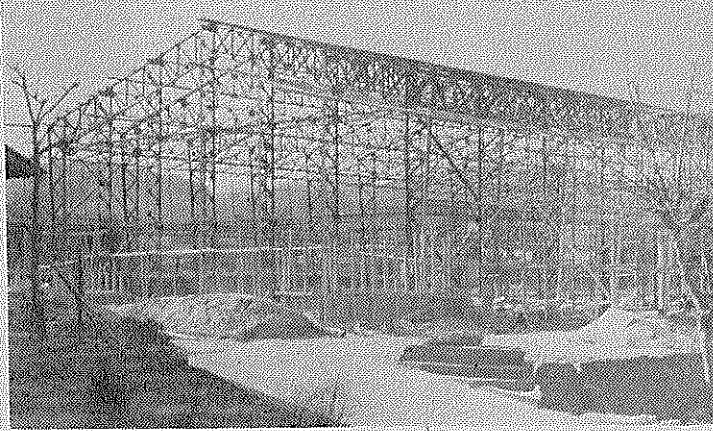
発行人 京都府田辺町役場総務課

印刷所 三星印刷所

田辺小学校と草内小学校の体育館兼講堂の建設工事は、写真のようにガツンとした鉄骨の骨組みを終え、寒風の中で今、着々と工事が進められ、新学期には間にあわせよう、と工事をいそいでいます。

体育館工事すすむ

＝田辺校体育館の鉄骨＝



＝屋根ふき工事中の草内校＝

↑草内校＝広さ 262平方メートル
工費 595万円
請負業者 山本組
←田辺校＝広さ(地下室も) 605平方メートル
工費 1,155万円
請負業者 原田工務店

しかし、これらの問題はどれ一つをとってみても、田辺町一人て解決できるものではありません。それに要する財源も確保しなければなりません。財政の確立と協力態勢および立地条件の整備、これらがそろってこそ初めてこの事業も可能となって

いきます。
ぜひやっつけていかねばならない問題はたくさんありますが、中でも、天井川の撤廃、し尿処理の問題、府道等主要道路の舗装、片町線の電化、公立高校の誘致、小学校の統合、危険校舎の解消と設備の充実などなど、数えきれない位重要な問題を山積しています。

こんど田辺町として、十年間のあしあとを確固とした基盤として、後半の二年間に全力をつくしていかなければならないと考えています。

幾多の苦難を経たこの十年間のあしあとを確固とした基盤として、後半の二年間に全力をつくしていかなければならないと考えています。



田辺町 長 伊東 昭
が昭和二十六年四月一日に田辺・大住・草内

都市計画と工業誘致

天井川の撤廃を陳情
三川(天井川)となっている天津神川、馬阪川、防賀川)撤廃委員会では、古くからさげばれているこれら三川の撤廃を実現し、町民の不安を取除き、産業面へ役立たせようと陳情運動を続けています。

町政は町民のみさんのためのものです。みなさんのくらしに密着した計画をたて、よい政治をしたいと思えます。ところが、どんなに綿密なよい計画がたてられたとしても、何となくもみなさんの理解がなければ十分な効果を上げることができません。明るい、くらしよい政治を行なうために、不断の協力ををお願いします。

町政は町民のみさんのためのものです。みなさんのくらしに密着した計画をたて、よい政治をしたいと思えます。ところが、どんなに綿密なよい計画がたてられたとしても、何となくもみなさんの理解がなければ十分な効果を上げることができません。明るい、くらしよい政治を行なうために、不断の協力ををお願いします。

そこで本年の大きな目標として、このほど結成された「工場・住宅誘致対策委員会」を中心に、本町の都市計画区域の指定と山城大橋の架橋、国道新幹線への対策、そのほか産業の立地条件を整備して、工業を誘致し、健全な地方自治の基盤の確立と経済の成長についてできるだけ広い視野から総合的な町発展策を、じっくり考えていきたいと思えます。

住居 工場 誘致委員会つくる

委員長に村田稔夫氏

このほど本町議会議員をもって結成された工場・住宅誘致対策委員会の顔ぶれは次のとおりです。

(敬称略)

- 委員長 村田稔夫 副委員長 水野繁三
- 副委員長 北村和雄 総務委員長 寺本幸男
- 文庫委員長 橋本岩松 経済委員長 藤本岩松
- 建設委員長 北川朝二 農業委員

この委員会では近いうちに府都市計画課の係員を招いて、本町の都市計画区域の編入問題と、こんこの町建設の方向について、更に検討する予定です。その結果、工場、集団住宅を本町へ誘致して積極的に町発展策を講じよう、というのがその大きなねらいです。

さいわい本町には「会社・工場 公団住宅等設置奨励に関する条例

三山木東区に

簡易水道完成

区民の強い要望で工事をいそいでいきました三山木東区簡易水道は、昨年八月に工費約二百三十万円をもって完成いたしました。水の便、水質も悪く困っていた区民約六百人は非常に喜んでいま

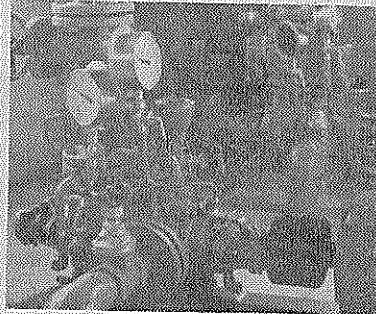
「がつくられています。この条例を実施することについては、更に実状に応じたものとするために改正される予定です。」

田辺水道

加圧ポンプ新設

興戸、高

区へも給水開始



写真II ポリユートポンプ

かねてから水圧の低かった一休が丘に、昨年府立洛南寮が建設されたのを機会に、田辺水道では同地の中央部に木造二十八平方メートルのポンプ室を設け、ここに三馬力のポリユートポンプ二台を新設し、

水圧を加える装置を取付けました。このうち一台は、重油発動機として停電の場合でも使用できるようになっており、これと同時に五十七立方メートルの配水筒もできまし

綴喜郡に工業高校 設置を陳情

綴喜郡五万住民の永年の夢であり、希望である「本郡内に公立高等学校を誘致する」ことについて郡町村会を初め郡議長会、町高校誘致委員会が一丸となって、強力に誘致運動を続けています。当初は普通高校を誘致する計画

た。これによって、いままでのような水圧低下も解消されるようになったわけです。

このほか昨年中に、田辺水道の給水区域を広げ、新しく興戸、高木、東区約二百九十戸に給水をはじめこの地区の水圧を加えるために、興戸たがわすの池近くに気圧水槽と七・五馬力の圧入ポンプを設け今年中には始動する予定です。

また水源池には工費百二十二万円を除却装置も取付けました。これで田辺水道の給水人口は約四千八百人となりました。

草内、飯岡の水道工 事も三月末には完成 の予定

草内、飯岡地区の簡易水道工事敷設工事も着々とすすみられ、本年三月末には、各家庭に給水ができるように、と工事をいそいでいます。

になっていましたが、その後政府の農村人口の工業方面吸収政策と



写真II 寮
とおし
よりたち

洛南寮できる

永年の町民の要望で京阪バス、奈良電バスも運行されている一休が丘に、この団地には九十戸近い公営住宅が建設されていますが、三十五年度工事として二十戸の町営住宅が建てられる予定です。

またこの近くには昨年十月、府立養老施設の洛南寮がたられ、百人近いおとしより達が、その日だまりで元気にすごしています。

人口一五、七九三人

時代の転換にともなう、これを工業高校に切換え、また運動範囲も南山城が一つとなった大きな力で進むことになりました。毎年、進学の時になると試験地獄に苦しむ生徒や保護者のみなさんの悩みが、いくぶんでも少なくなるよう、これが実現に最善の努力を続けるために、住民みなさんの積極的な協力を希望します。

昨年十月一日、全国いっせいに行なわれた国勢調査の結果、田辺町の人口は一五、七九三人（男七四七人・女八、〇四六人）となり、男女比は女百人につき男九六・二人となりました。またこの前の調査（三十年）と比べますと四〇六人が増えています。ちなみに京都府の人口は、一九九三、二五六人でありました。

火の用心

空気が乾燥しています。火事になったら大変です。ちよつとの不注意。火事まねく。

田辺町の各保育園（田辺・三山木・草内・大住）では、いま入園児の募集を行っています。保育時間は8時から4時までです。入園希望者は、役場厚生課または各保育園備付けの用紙で申込んで下さい。



国民年金の実施については昨年八月本紙の特集号によりくわしくおしらせしたのでありますが、そのこの経過についておしらせします。

の届出4割が完了

お早くどうぞ

国民年金
 届出をただで、六割の人がまだ届出をしていない状況で、役場係員は大変頭をいためています。加入の義務のある人は、いまずぐ

ご承知のようにこの年金制度は昨年十月に実施を見ましたが、二十才から五十才までの人で、他の年金制度に加入していない人は必ずこの年金に加入しなければなりません。

本町ではこの強制加入予定者が約四千人ほどありますが、昨年十二月末現在でその四割千六百人余りが届出しました。

この焼却炉を設けることによつて腐みのゴミを一掃し、伝染病や不快な環境から健全なくらしを



三月末に完成

予算約百五十万円をもつて、いま一休カ丘に塵芥（じんかい）焼却の築炉工事が行なわれてい

自然通風型で、工事の完成は本年三月の予定ですが、これが完成すれば一日千貫から千三百貫のゴミ

に印かんをもつて役場厚生課にて届出をすませて下さい。政府ではこの年金法の一部を改正して三年以上掛金をした人で

死亡した場合の一時金の支給や、官公署、会社等を退職し年金に加入した場合の恩典についても検討しています。

「予防接種をうけよう

マヒ 小児マヒ（ポリオともいいます）患者の発生で、昨年

本町として、こんご一人でもこのような不幸な幼児が出ないようその対策をわけていますが、その一環として、予防接種を次の予定で行なうことになりました。

- ① 今の社会保険に新しく加入した人。
- ② 現在どの社会保険にも加入していない人。

国民健康保険 実施せまる

いよいよ四月一日から国民健康保険が実施されます。町役場では昨年九月に準備調査をしましたがそのこの異動で次の方々には役場厚生課へ届出てください。

主婦のひろは

殊に婦人の労働は一方に生産に従いながら主婦の本来的仕事もあるし

主婦の健康

明かに生活できませんし、また全員健康も保たれません。平素の食事は勿論、保健についての知識と実践力は非身につけなければなりません。農繁期に休重が減ったり

健康がそこねないように気をつけ、勿論政府の施策や、各方面からの現実と、主婦の立場を考えて種々心配して下さると思つてますが、私達は私達なりに、分りき

マ接種をうける人
 ① 34年7月1日から35年6月30日まで生まれた幼児
 ② 生後半年から四才までの幼児
 マ実施予定（一人三回）
 二月上旬、三月上旬、九月中旬

新しい商工会できる

昨年六月に施行された「商工会の組織等に関する法律」にもとづいて、本町においても新しい商工会ができました。

精こんをつくし果てるような過労にならぬとも限りません。農家の主婦たちは封建的な従従からは漸次開放されたとは思いますが、農繁期ともなれば、こまねずみのよ

やかな夢であり、希望でありま

要すると考えた事は一つ
 マ費用 一人一回につき 三百四十七円

加入会員数は三百十六名に達し昨年十二月六日に創立総会を開催し規則や役員をきめました。

会長に大崎真一氏、副会長に竹村為雄氏と村井博氏はか二十二名の役員をきめました。

<p>洋裁 料理 講習生募集</p> <p>◎日曜洋裁教室 30名 毎日曜（終日） ◎土曜料理教室 30名 月2回（半日） 学歴・年齢を問わず 月謝 月200円（洋裁） 150円（料理） 詳細は学校か町教委へ</p>	<p>生徒募集</p> <p>◎本科1年50名 ◎本科2年若干名 ◎研究科若干名 ◎速成科・別科 各若干名</p> <p>願書受付 1月10日～3月10日 出願手続 本校規定の入学願書により直接本校か町教委へ</p>
--	---

田辺高等技芸学校



三山木小学校

私たちの学校

普賢寺小学校



③

三山木小学校は明治5年、山本の麓寺西蓮寺に山木小学校として創立。その宮津村小学校を合併、幾多のへんせんを経て今日に至る。現在先生は17人、児童383人をもつ。昨年P.T.A.など協力もあって沖繩の児童を招いたり3月には招かれて同地へ行く予定である。

沿革

普賢寺小学校は明治6年に、天王・水取・普賢寺・多々羅を通学区域に水取校として創立、打田・高船で打田分校を設立した。以来種々のうつりかわりはあったが、現在先生は12人で302人の児童は、山映の静かな環境で勉強にげんでいる。生徒会の運営も活発で子供銀行で大臣表彰をうけたこともある。

詩

もうすぐ卒業だ
六年 小川正美

門をくぐって六年間

夢のように 去るうとして
もうすぐ卒業だ
校庭に立っている「らくら松」は
私に「伸びて行け」と
さげんでいるようだ。
今からでも、おそくはない
はげましてくれる「らくら松」
私もおまえのように
伸びて行こう。

お正月

四年 中川喜代子

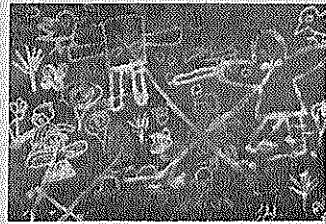
待ちにまったお正月、私や弟は
喜んでいました。お母さんたちは「
お正月は、おめでたい日やけど、
人にごちそうをつくらたり、お年
い、なにや」といいました。
「あめふってきたさかい、たけ
をはこんでんか」といわはったの
で、わたしは、いそいでほこびま
した。
あとから、おとうともきて、「ぎ
つ、ふってきたな、ほくもほこぶ
で」といって、おうえんしてくれ
たので「ふたりで、いっしょには
こぼな」というと、おとうとは「
うん、さっちゃんほくにわたし
てや、ほくは、たけのおいたると
こへおくし」といいました。
「うん、よっしゃ」といって、な
かよくほこびました。あめは、だ
んだんきつくなりました。
おかあさんが「わたしもほこびま
すわ」といってでてきたら、もう
たけはありません。

詩

きりの雨
三年 北山 宏

朝おきたら
きりで、いっばいや
むこうの方は
なにも見えない
家も道も見えなかった
自転車の音だけ
「チリン、チリン」
となっていた。
なんだか、さみしそうな
朝だった。

大地に
菜ぐむむに
三山木小学校 六年 中川正枝



二年 きたがわたつお

希望の
新春
五年 山村登子



六年 田中 和雄